

ルネサス高収益なのに「指名解雇」

「指名解雇」と定昇見送りの撤回を求め団体交渉へ

1月6日、電機・情報ユニオンは、ルネサスエレクトロニクス社が強行しようとしている「指名解雇」リストラと定期昇給見送りの撤回を求めて、団体交渉の申し入れを行いました。

「指名解雇」リストラについては、2万1千人のグループ従業員の約5%にあたる千人程度の人員削減を計画しているなど、概要が明らかになりました。また、ルネサスはすでに昨年も、同様の人員削減施策によって数百人規模を退職させていたことが判っています。これらはいわゆる希望退職ではなく、会社が辞めさせたい社員を一方的に指名するもので、事実上の指名解雇に限りなく近いものです。会社はこの施策を通常の人事制度として恒常化し、今年以降も毎年実施するのではないかと疑われています。

定期昇給の見送りも問題です。ルネサスは賃上げに対する社会的要請の高まりを無視するかのごとく、ベースアップを10年以上実施していません。さらに昨年は定期昇給まで半年延期し、2025年は実施さえしないとしています。

昨年度のルネサスは、前年から売上や利益を下げたとはいえ約2千6百億円の営業利益（営業利益率約19%）の大幅な黒字となる見込みです。このような状況で、賃上げを行わないだけでなく、人員削減まで行う異常な経営は、社会に大きな衝撃を与えるものとなっています。

<1月6日 団交申し入れ後の記者会見の様様>



電機・情報ユニオンで雇用を守ろう

電機・情報ユニオンとルネサス懇は、昨年12月に『ルネサス「指名解雇」リストラ対策本部』を立ち上げました。対策本部では、会社の異常なリストラに対抗していくとともに、無料で労働相談を受け付けています。

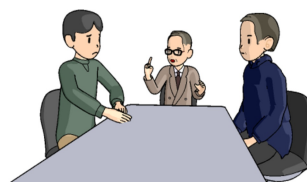
退職強要を受けている、しつこく面談を求められている、社外教育を強制させられた、残っても遠隔地への転勤しかないと言われる困っている等、リストラに関する相談を希望される方は、下の電機・情報ユニオンの連絡先にアクセス願います。また、電機各社でリストラに対抗している電機・情報ユニオンの活動の詳細は、ホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

労働者一人ひとりに寄り添う活動を目指します

電機・情報ユニオン

連絡先
TEL 03-6421-5323
FAX 03-6421-5324
メール: <denkiunion@gmail.com>

困ったら、一人で入れる
電機・情報ユニオンに相談を



ルネサス懇

ルネサス関連労働者懇談会

E-Mail: renesaskon@gmail.com

Web site: http://www.renesaskon.net/

住所: 〒142-0043 東京都品川区二葉2-20-8

染野ビル2F 電機労働者懇談会気付

TEL: 03-6421-5323 FAX: 03-6421-5324

一人でも入れる 困ったら

電機・情報ユニオン

〒142-0043 東京都品川区二葉2-20-8

染野ビル2F

TEL 03-6421-5323, Fax 03-6421-5324 Email: denkiunion@gmail.com



経営の無責任に対し、社員から怒りの声上がる

昨年11月にルネサス懇が実施した「ルネサス リストラアンケート2024」には、社員にしわ寄せする厚顔無恥なリストラと経営の無責任に対する怒りの声が続々と届きました。なおアンケート結果の全様は、ルネサス懇のホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

アンケートに寄せられた声より

このような無謀なリストラ、定昇停止をするのであれば、CEOは責任を取って辞任、かつ高額な報酬を全額返納すべき。自分の目標が大幅未達だったのだから、トヨタの会長より高額な報酬など得ている場合ではない。一般社員には「日本の半導体関連会社の中位」をターゲットにした給与しか払わず、自分だけ超一流企業の「優秀な経営者」と同等の報酬を得ようとするなど、何を血迷っているのか。

売上減少のリスクは当然想定した上でないM&Aは出来ないはずなのに、何故、ここに来て8900億円でアルティウム購入したのに売上減ったので人を減らすのか、全く理解できない。柴田CEOが年間にもらう16億円を半減するだけでMIを出せる。今の経営者達の無能は明らか。

昨年11月に指名解雇リストラの宣告がされたとき、柴田CEOの説明が如何にも大したことがないと言うような口ぶりで、本当に不気味だった。こんな違法行為まがいの悪質なリストラを毎年の恒例行事にして、この人は一体何のために何がしたいのだろう。たった1年で一生遊んで暮らせるだけの役員報酬をもらっている人には、子供の学費を払えるかどうかさえも心配している社員の気持ちなど、解るはずがないのだろうと思う。

会社側は、近年になって、業績の如何に関わらずしきりに人員削減を持ち出すようになったが、経営陣自身の経営責任に言及したことはなく、その報酬も毎年膨れ上がっている。さらに、今年から報酬決定委員会が株主総会から独立し、経営陣が自己の報酬を思うがままに決定できるようになった。

指名解雇も定期昇給延期も労働者の意欲を削ぐもので、やる意味が全く理解できない。ルネサスはそういう会社だから、常に他社への転職を考えて働くしかないと諦めている。なるべく早くエンジニアのスキルを身につけて、ルネサスを辞めたい。

もしも退職強要面談を受けたら

「やめません」とはっきり言う

「厚労省のガイドライン違反です」と言う

「人権侵害はやめてください」と言う

「電機・情報ユニオンに相談します」と言う

退職勧奨の面談は、原則2回まで、本人が拒否しているにも関わらず3回以上の面談を強制した場合、退職強要（違法）となります。それでも一人で跳ね返すのは、強い意志があってもなかなか困難です。少しでも不安を感じたら、遠慮なく電機・情報ユニオンにご相談ください。昨年11月に部長から面談を求められた社員の中には、「法にのっとり退職しない意思を貫くこと、電機・情報ユニオンに連絡して共に戦うこと」を告げたことで、面談を回避できた例もあります。

また、ルネサス懇のホームページに掲載しているWEB限定ビラ38号「指名退職面談Q&A」も、あわせてご参照ください。